

学校だより

NO. 482

令和6年10月31日



品濃

〈横浜の教育がめざす人づくり〉

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

〈学校教育目標〉

大好き自分 大好きみんな ともに創る品濃の子

・知 生きて働く知 ・徳 豊かな心 ・体 健やかな体

・公 公共心と社会参画 ・開 未来を拓く志

横浜市立品濃小学校

電話 824-0651

FAX 826-2183

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinano/>

## 令和6年度後半も自分らしく自信をもって

校長 世取山 実義

少しは秋らしくなってきたでしょうか。10月後半に入っても汗ばむ日がまだ何日か続いています。

今年の暑さは異常と言っていいほど大変で、悪いことばかり目立ってしまっていますが、私にとっては、必ずしもそうではないという出来事がありました。私の毎日欠かさず行うルーティーン（習慣）の一つは植物への水やりです。お日様をたっぷり浴びた我が家の大葉（シソ）やオクラは夕方にはうなだれるようにぐったりとしてしまいます。帰宅して家の中に入る前に、バケツたっぷりの水やりを汗をかきかき行い、時々根元に肥料をあげました。例年はそれほど大きくなりません植物も、今年は私の背丈ほどに大きく生長し続けました。夏の初め頃の大葉はバッタのごちそうとなり葉に穴がたくさんあいていましたが、日が経つにつれバッタの食欲よりも大葉の生長が加速していったため、葉もたくさん出て大きくなり、我が家の食卓だけにとどまらず、ご近所や飼育しているスズムシにも喜ばれました。今年の夏の暑さは植物たちにとって、太陽の光をたくさん浴びることができたことで、例年より大きく生長できた要因の一つになったのではと思いました。

またそれと同時に、相手はだれであれ、なんであれ、愛情込めて育てることはとても大切であることと、たくさんの恵みが自分に返ってくることを実感しました。オクラはきれいな黄色の花を今でも咲かせ、栄養たっぷりの実をたくさんつけました。大葉もその後花を咲かせたたくさんの実をつけました。シソの実で作った自家製の佃煮はご飯のお供に最適です。みなさんも来年の夏には是非家庭菜園で大葉やオクラをお試ください。

先日横浜子ども会議2024が戸塚区役所で開催されました。「つながる、広げる、いじめ未然防止の輪」～一人ひとりができること～をテーマに、学校を代表して6年生運営委員の青野真由佳さんが、品濃小の取り組み内容を聴く人がわかりやすいように工夫し、大変立派に発表しました。学校が居心地のよい場であるよう、いじめでつらい思いをする人たちがいなくなるよう、運営委員会が中心となって「ポジティブ アップ ワード」週間を設定しました。学校の内外で子どもたちの前向きな発言が多くなるよう、身の回りの良さがたくさん見つけられるように今後も取り組んでいきます。あいさつとともに子どもたちの前向きな言葉【ポジティブ アップ ワード】が聞けましたら是非ほめてください。それと同時に私たち大人もたくさん前向きな言葉を普段から発していきたいと思えます。

「今日もがんばった」「〇〇さんありがとう」「大丈夫 大丈夫」「ラッキーついてる」「ピンチはチャンス」「為せば成る」「願えば叶う」「やればできる」「やった いいね」などの言葉がたくさん聞けると素晴らしいです。たったその一言が人を傷つけ、たったその一言が人を幸せに温かくする、言葉には不思議な力が本当にあります。

令和6年度も後半を迎えました。品濃小学校の児童一人ひとりが自分らしく自信をもって生活できるよう、保護者の皆様、地域の皆様、引き続き、子どもたちの安心安全のためのご支援ご協力をどうぞよろしくお願い致します。